

ISO 規格発行の概要

ISO 76:2006/Amd.1:2017, Rolling bearings – Static load ratings AMENDMENT 1

(転がり軸受－静定格荷重 追補 1)

2017年10月付にて、**ISO 76** (Rolling bearings－Static load ratings) の追補が制定・発行されました。その経緯と規定内容の概要を紹介します。

1.経緯

2014年に、**ISO 76** の定期見直し投票が実施されました。投票結果は「確認」(現状を維持する)が多数でしたが、その中でいくつか提案された「改正」意見について、2015年5月の第15回**SC 8** ロンドン会議で審議されました。その結果、「**ISO 76** 内で使用されている各係数の、軸受寸法に応じた変化を示した線図を追加する」という改正提案が認められました。更に**ISO/TC 4/SC 8** (転がり軸受の定格荷重及び寿命を扱う分科委員会) 議長から、「静定格荷重の計算に用いる係数の計算式を記載する」という提案があり、これらをまとめて**ISO 76** の“追補”として発行することを同会議で決定しました。

これを受け、**SC 8** 議長をプロジェクトリーダーとして2016年3月より本格的な追補制定作業を開始、2017年10月の制定発行に至りました。

2.規定内容の概要

ISO 76 は、転がり軸受の静定格荷重の計算方法を規定している規格です。今回の追補は、現行**ISO 76** に対し、主に以下の内容を追加するものです。

- ・静定格荷重の計算に用いる係数“ f_0 ”の計算式が追加されました。この式は**ISO 76** の解説書に相当する**ISO/TR 10657:1991**に記載されているもので、式の内容に変更はありません。この内容は「規定」として扱われます。また、現行**ISO 76**に記載されている、係数“ f_0 ”の一覧表も、「規定」のまま残ります。
- ・係数“ f_0 ”の計算に必要な、第二種だ円積分“ $E(\kappa)$ ”を求める計算方法(ヘルツ理論)が、**附属書 B**として追加されました。この内容は「規定」ではなく、「参考」扱いです。
- ・軸受寸法が変化した場合の係数“ f_0 ”の変化、及び接触角が変化した場合の静等価荷重係数“ Y_0 ”の変化を示した線図が、**附属書 C**として追加されました。この内容は「参考」扱いです。

以上